

作成日 2018/07/23 改定日 2018/8/28

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ポルトガード4000

種類:アクリル樹脂系塗料

製造会社

会社名:株式会社セントラルコンクリート

住所:〒107-0061 東京都港区北青山2-7-26-805

担当部門:ポルトガード事業部

電話番号:03-5410-2580

FAX番号:03-5410-2588

緊急連絡電話番号:03-5410-2588

整理番号:3023110102508

用途:建築用、その他

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康に対する有害性:

急性毒性一吸入・蒸気

:区分4

生殖毒性

:区分2

特定標的臓器毒性(単回暴露)

:区分2 (肝臓、血液、腎臓、中枢神経系)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:警告

危険有害性情報:

- ・ 吸入すると有害
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
- ・ 肝臓、血液、腎臓、中枢神経系の障害のおそれ。

注意書き、安全対策:

- ・ 使用前にSDSを入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ ミスト/蒸気/スプレーの吸入しないこと。
- ・ 指定された材料以外のものと混合しないこと。
- ・ 容器からこぼれた場合は、砂などを散布したのち処理すること。
- ・ 本来の用途以外に使用しないこと。

応急措置:

皮膚等に付着した場合:

- ・ 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合:

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。
- ・ 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

暴露または暴露の懸念がある場合、気分が悪い場合:

- ・ 医師の手当、診断を受けること。

保管:

- ・ 容器を密閉し、涼しく換気の良いところで、施錠して保管すること。
- ・ 子供の手の届かないところに保管すること。

廃棄

- 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分: 混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法:

成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知対象物質	毒劇法	PRTR法
水	7732-18-5	50~60	—	—	—
アクリル・スチレン樹脂	—	30~40	—	—	—
2, 2, 4-トリメチル-1, 3-ペンタンジオールモノイソブチレート	25265-77-4	1~10	—	—	—
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	1~10	○	—	—
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1~10	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合:

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合:

- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
- 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚を速やかに洗浄すること。

目に入った場合:

- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 水で数分間注意深く洗うこと。
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:

- 口をすすぐこと。
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤:

- 粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水

使ってはならない消火剤:

- 棒状注水

特有の危険有害性:

- 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性ガスを発生するおそれがある。
- 加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法:

- 消火活動は、有効に行なえる最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消化を行なう者の保護:

- 消火作業は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護具措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 適切な防護衣を着けていない時は、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはならない。

環境に対する注意事項:

- 環境に放出してはならない。
- 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法／機材：

- ・ 漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。
- ・ 危険でなければ漏れを止める。
- ・ 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。
- ・ 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
- ・ 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
- ・ 少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
- ・ 乾燥した土、砂あるいは不燃物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。
- ・ 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れる。

二次災害の防止策：

- ・ 全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
- ・ 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：

- ・ 『8. ばく露防止及び保護具措置』に記載の設備対策を行ない、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項：

- ・ 使用前には使用説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 取扱い後は、よく手を洗うこと。
- ・ 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ 接触、吸入または飲み込まないこと。

接触回避

- ・ 『10. 安全性及び反応性』を参照。

衛生対策：

- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管：

安全な保管条件：

- ・ 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気設備を設ける。
- ・ 『10. 安全性及び反応性』を参照。
- ・ 酸化剤から離して保管する。
- ・ 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料：

- ・ 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
- ・ 消防法で規定されている容器を使用する。
- ・ 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

- ・ 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
- ・ 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。
- ・ 空気中の濃度を抑制するには、一般適正換気で十分である。

管理濃度／許容濃度：

化学物質名	暴露管理基準ppm	暴露管理基準mg/m ³	skin
エチレングリコールモノブチルエーテル	25	—	—
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
エチレングリコールモノブチルエーテル	20	—	—

保護具：

呼吸器の保護具：

- ・ 必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
- ・ 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護：

- ・ 必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。

眼の保護具：

- ・ 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体のプロテクト:

- ・必要に応じて個人用保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観		
物理的状态	:	液体(エマルジョン)
色	:	乳白色
臭い	:	僅かな特異臭
pH	:	
融点/凝固点	:	
沸点、初留点、沸騰範囲	:	
引火点	:	引火せず
自然発火温度(発火点)	:	
燃焼性(固体、ガス)	:	
燃焼または爆発範囲の上限/下限	:	
蒸気圧	:	
蒸気密度	:	
蒸発速度	:	
比重(相対密度)	:	
溶解度		
水に対する溶解度	:	
水に対する溶解性	:	水に分散
溶媒に対する溶解度	:	
溶媒に対する溶解性	:	
オクタノール/水分配係数	:	
分解温度	:	

10. 安定性及び反応性

安定性

- ・常温、常圧で安定。

危険有害反応可能性:

- ・水との反応性はない。

避けるべき条件:

- ・5°C以下、40°C以上になるおそれがある場所での保管は避ける。

危険有害な分解生成物:

- ・燃焼等によりCO、NOX等の有害ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性: 情報なし

エチレングリコールモノブチルエーテル

急性毒性(経口)	ラットLD50	区分4	1746 mg/kg
急性毒性(経皮)	ウサギLD50	区分3	610 mg/kg
急性毒性(吸入/気体)			GHSの定義による液体
急性毒性(吸入/蒸気)	ラットLC50	区分2	2.4 mg/L(4h)
急性毒性(吸入/粉塵)			データなし
急性毒性(吸入/ミスト)			データなし
生殖細胞変異原性		区分外	
発癌性		区分外	

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(慢性)	データなし
生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃棄物の処理を委託する場合は、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器および包装:

- ・ 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行なう。
- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78付属書II 及びIBCコードによるばら積輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

化審法:	優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働安全衛生法:	作業環境評価基準(法第65条の2第1項) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条の1、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法57条の2、施行令第18条の2別表第9)
消防法:	非危険物

16. その他の情報

引用文献:

- ・ ラベルおよび表示・安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
- ・ 日本産業衛生学会
- ・ ACGIH
- ・ IARC
- ・ RTECS
- ・ 既存化学物質安全(ハザード)評価シート 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

その他:

- ・ このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・ 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- ・ このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- ・ このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- ・ 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0. 1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。